

定例会議の開催状況

第1 開催日時

令和5年3月30日（木） 午前10時～午後1時40分

第2 開催場所

公安委員会室

第3 出席者

1 公安委員会

上枝委員長、岡委員、大石委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長、
首席監察官、地域監、情報通信部長、公安委員会補佐官

3 陪席

総務課長

第4 委員説示

委員から、「統一地方選挙、G7香川・高松都市大臣会合が目前に迫るなか、特殊詐欺やサイバー関連事案への対処等、警察を取り巻く課題は山積しているが、しっかり対応し、県民の期待に応えていただきたい」旨の発言があった。

第5 議題事項

G7広島サミット警備に伴う特別派遣について

県警察から、広島県公安委員会から援助の要求があったので、これを受理して警察官を特別派遣する旨の報告がなされ、審議の上了承した。

委員から、「派遣期間が長く、派遣される者も残留する者も大変だと思うが、緊張感を持って業務を遂行していただきたい」旨の発言があった。

第6 報告事項

1 令和4年度におけるサイバーセキュリティ戦略推進状況等について

県警察から、令和4年度におけるサイバーセキュリティ戦略推進状況及び令和5年度の取組について報告がなされた。

委員から、「サイバー犯罪に関しては、今後も新しい手口が増えてくることが予想されるため、これまで以上に、民間企業との協力体制が必要になってくると思う」旨の所感が述べられたほか、委員から、「身近に潜

むサイバー犯罪の抑止対策等について、広く県民に広報していただきたい」旨の発言があった。

2 令和5年2月中の苦情申出の受理・処理状況について

県警察から、「令和5年2月中の苦情申出受理件数～公安委員会1件、警察3件」、「令和5年の苦情申出総受理件数～公安委員会3件、警察4件」である旨の報告がなされた。

委員から、「苦情対応について、警察対応に非があった場合や配慮に欠けていた場合には真摯に対応していただき、必要があれば業務改善に繋げていただきたい」旨の発言があった。

3 令和4年中の人身安全関連事案の現状と今後の対策について

県警察から、令和4年中に県警察が認知した人身安全関連事案（ストーカー・DV・児童虐待）については、前年に比べいずれも減少した旨の報告がなされた。

委員から、「ストーカー・DV・児童虐待は、重大事案に発展するおそれがあるため、関係機関と連携を密にし、引き続き、被害防止と違法行為の検挙に努めていただきたい」旨の発言があった。

4 令和4年中における少年非行情勢について

県警察から、「非行少年総数は前年より増加し、学職別では高校生が全体の約3割と最多」、「特別法犯の検挙、補導人員は前年より減少」、「触法少年の補導人員は、前年より増加」した旨の報告がなされた。

委員から、「犯罪に巻き込まれないためにも、特に、保護者等の目が届きにくいSNSの利用については、引き続き、防犯活動等で危険性を子供達に伝えていただきたい」旨の所感が述べられた。

第7 意見の聴取等の審議結果について

県警察から、運転免許の取消し等に係る意見の聴取等について報告がなされ、審議の上、処分内容を決定した。

第8 その他

警察署協議会の開催結果について

県警察から、令和5年2月7日（火）開催の「令和4年度第4回琴平警察署協議会」の結果について報告がなされた。